

ボーイスカウト

かしわだいななだんつうしん



柏第7団通信



2010
4/11 第3号
〈発行〉
日本ボーイスカウト千葉県連盟
柏第7団
〈発行責任者〉
高橋 雅彦
〈編集〉
西尾 多道



東葛地区ラリー 「自然はぼくらが守る」 (団合同) 2月11日(木)



柏第7団の木をバックに

でもある我孫子市五本松運動公園にて行われました。「自然はぼくらが守る」という大会テーマのもと、今回の地区ラリーワッペンにもなったシンボルマークデザインの表彰が行われ、柏第7団からはカブスカウトの優秀賞の程田さんと佳作の吉田君が全スカウトの前で表彰されました。副市長から我孫子市長のメッセージが読み上げられた後、ご本人自ら隊長経験者だとの衝撃コミングアウトと共にスカウト達への激励をいただき各隊ごとにラリーの開始となりました。

ビーバー隊はこの場で活動です。東葛地区の全体ゲーム「しぜんはぼくらがまもる」でまずはカード集めゲーム。読み聞かせの後「もったいないばあさん」が登場してスカウト達は大喜び。さらに謎の博士からゴミの分別について学んだ後にクイズ大会です。さらに「ゴミの分別ゲーム」を行った後「大きな輪の皮抜けゲーム」を元気いっぱいしました。お昼ご飯では暖かいスープでスカウトもリーダーも暖まります。

カブ隊は五本松運動公園から松ヶ崎城跡公園までのウォークラリーに出発です。地図を元に組ごとに歩きながら、「言葉探しカード」を探し、昼食を途中でとった後、まずは手賀沼公園を目指します。そしてゴールの松ヶ崎城跡公園では植樹祭が行われました。



大きな輪の皮抜けゲーム

残念ながら柏市長やチーバくんの参加した式典時間が早まり、カブ隊の到着は間に合いませんでしたが、その後の植樹は全員参加できました。

スコップで木を植える穴を全員で大きくして、みんなで柏第7団の木として「シラカシ」の木を植えました。

ボーイ隊は「鳥」をテーマに、手賀沼周辺のハイキングを実施。自転車を使って手賀沼を半周したり、湖畔伝いに柏駅までハイキングしながら、野鳥や自然観察、鳥の博物館での資料調査などを行いました。



チェックポイント

松ヶ崎城跡
北柏駅から約五百メートル離れた高台にある中世の城跡。北総城郭跡がほぼ完全に残る。重なる歴史で敷地内には古墳も存在する。今回、柏市と地権者と保存の合意がなされた。柏市指定文化財。

シラカシ
ブナ科コナラ属の常緑高木。材が白色なので葉が白い。冬は丸い葉が落ちていない。秋には白い花が咲く。幹は丸い。横筋の段々があり本当の帽子のようである。二

宮司さんのお話 (カブスカウト) 1月31日(日)

日頃からお世話になっている廣幡八幡宮の宮司岩立様のお話をカブスカウト全員でうかがいました。昔の廣幡八幡宮や大津川の様子、人間が生きて行くのに必要な大地や空気と水、そして日光の大切さや廣幡八幡宮に祀られている神様の種類や歴史も優しい言葉で詳しく話してくださいました。最後のスカウト質問時間には珍問続出の中、丁寧に答えてくださり本当にありがとうございました。

野営場に戻って出発前にセットしておいたリーダー手作りの太陽熱温水器を確認すると、曇り空にもかかわらずペットボトルの水が温かく加熱されていてスカウトもリーダー達もびっくりです。その後は組ごとに実際に火を起し、バナナやマシュマロを焼きおいしく食べました。



スカウト達にお話される岩立宮司

<スカウトってどうなってるの?③> 「班(組)制度」

「班制度」は「進歩制度」と並んで重要なスカウトの活動です。スカウト達を少人数の班に分け、各自に責任を与え、班と班同士が刺激を与え合うことにより、「責任感」「協調性」「指導性」を養います。年齢の違うスカウトで構成された班により、年齢が上のスカウトは下のスカウトを指導することや、下のスカウトは教わる事によって上下関係を通じた教育効果もあります。ボーイスカウト隊では班長の役割と責任がより重くなっています。





夕食はごちそう

その後の夕食では手慣れたスカウト達がテキパキ準備します。夕食のメインディッシュはカレーライス。他にもサラダ各種とハムの厚切りもあり豪華な夕食の完成です。翌日は再びテント訓練を行いました。次は5月の「春キャンプ」です。

冬キャンプ (ボーイスカウト)

2月20日(土) ~ 21日(日)

天候に恵まれた中、ボーイ隊の冬キャンプが野営場で行われました。

現在、キャンプで使われるドームテントは設営が楽なのですが長期のキャンプでは耐久性にやや難があると言われています。その点昔からある家型テントは複雑なフレームが無い分、長期設営に向けた構造をしています。やや設営が難しいという欠点があるためその訓練を行いました。更にランタンの使い方も覚えました。その



家型テントは難しい

スノーキャンプ

3月20日(土) ~ 21日(日)

(団合同) 群馬県 片品村 丸沼高原



今年は昨年までのスキーキャンプに代わり、「雪山の物知り博士と遊びの達人になろう」というキャッチフレーズで一泊二日のスノーキャンプを群馬県片品村の丸沼高原で行いました。スカウト16名、リーダーと保護者10名の計26名は貸し切りのバスに乗って出発。丸沼高原に到着すると最初は大沼までのハイクです。途中でかんじきやスノーシューを体験しながら雪の中を遊びまくり、すばらしい風景もスケッチ。戻ってきてからは野外で「アイスクリーム作り」です。なかなか固まらなくてもアイスはおいし〜い。夜は豪華なディナーの後は「星空観察」です。澄んだ高原の空気の中、コンパスを使いながら星座を探しました。



雪洞作り

翌日も良い天気の中、スカウトの2班とリーダー達で雪洞作りを競いました。アイデアたっぷり滑り台付きの雪洞をスカウト達は作ります。リーダーのものはさすがに立派。終わりに絶好のタイミングで雪が降り雪の結晶を観察します。昼食を食べ、名残惜しくも雪山を後にします。帰りに寄った観光名所の吹割(ふきわり)の滝は間近に観ると迫力十分。雪があるか心配された中での実施でしたが、たくさんの雪の中、思いいっぱいのスノーキャンプとなりました。



第15回日本ジャンボリー(15NJ)② 8/1~8/9

柏第7団からは8名のスカウトが参加する日本ジャンボリーが静岡県富士宮市朝霧高原で開催されます。

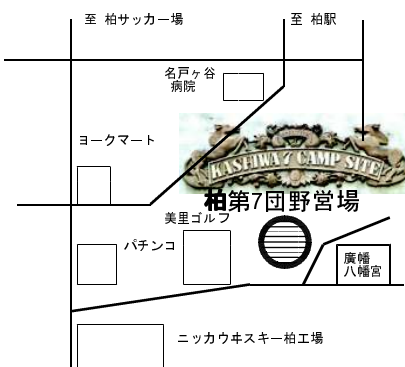


キャンプ生活：15NJでは、すべての参加者が体験する中心的なプログラムを、世界スカウトジャンボリーを意識したテーマ別に設定し、半日または一日の単位で場内と場外で実施します。参加スカウトはサブキャンプを基本単位とするグループごとに、6つのテーマ別プログラムを体験します。主食のお米は環境に配慮し生活排水を減らすために無洗米が配給されます。配給は朝夕の1日2回行われ、プログラム実施日の昼食には携行食が朝の配給時に配られます。



見学：見学者(見学スカウト、保護者等)は、大会期間中(8/2~8)の全体行事に入場できます。しかし、参加者の生活地域であるサブキャンプには、見学者は立ち入りできませんので、参加者と会うためにはスカウトセンターやアリーナで待ち合わせるようになります。

会場図 (ボーイスカウト日本連盟ホームページより一部抜粋)



野営場の案内
柏第7団の主な活動場所は左の地図にある野営場です。廣幡八幡宮のすぐそばです。

<今後の予定>

- ビーバー 隊集会 4/25, 5/9, 5/30, 6/13, 6/27, 7/11
- カブ トレキャン 4/17~18 他
- ボーイ 春キャン 5/1~4 他
- ハイキング 6/20 他
- ベンチャー アタックキャンプ 5/2~4 他
- 団, 他 柏祭 7/25
- 15NJ 8/2~9

「柏7団」で検索するとホームページが見られます